

岩見沢市

緑の相談コーナーだより

No. 346

2014 年 4 月 1 日 発行

〒068-0833 岩見沢市志文町 794 番地 いわみざわ公園 室内公園「色彩館」

トウオガタマ(カラタネオガタマ)

Michelia figo (Loureiro) Sprengel (*Magnolia figo* (Loureiro) DeCandolle)

トウオガタマ(唐招霊)は中国南部原産の常緑低木～小高木で、モクレン科オガタマノキ属(*Michelia*)に属しています。

北海道の屋外でモクレンやコブシやホオノキを見慣れている方々には、トウオガタマはモクレン科とは信じられないくらい小型で可愛らしく見えることと思います。小型ツバキやチャノキを思わせるつややかでコンパクトな葉を互生させ、枝先近くの葉脇から春に直径 2～2.5cm の花を咲かせます。ひとつの花はわずか数日で散ってしまいますが、枝一本あたり数輪ずつ次々に咲くため、比較的長く花を楽しめます。

オガタマノキ属は、日本列島に自生しているのはオガタマノキ(*M. compressa*)1 種だけです。属全体では中国南部から東南アジアにかけて約 50 種が分布し、モクレン科の中では約 130 種からなるモクレン属(*Magnolia*)に次ぐ大所帯です。雄しべ群と雌しべ群の間に隙間があること、枝先ではなく葉の脇に蕾がつくことなどから、モクレン属と容易に区別できます。また、モクレン属には常緑樹と落葉樹が混在しているのに対し、オガタマノキ属はすべて常緑樹です。



トウオガタマの花

オガタマノキの語源は、(1)常緑ですらりと伸びた樹形から、神が降り立つ木と看做されてついた「招霊の木(おぎたまのき)」が訛った、(2)花の芳香を指す「小香(おが)」と丸い果実を指す「玉」で「おがたま」、(3)「拌み魂(おがみたま)」すなわち魂を拌むという意味、などの説があります。(1)や(3)の説を裏付けるかのように、オガタマノキは昔から関東以西の温暖な地域で神社の境内にしばしば植

えられてきましたが、近年は徐々にトウオガタマに取って代われつつあります。成長が旺盛ですぐ背が高くなり剪定しにくくなるオガタマノキに比べ、トウオガタマは成長がゆっくりで、目線の高さで毎年花を楽しめることが、この交代劇の一因でしょうか。

モクレン科の植物には花に芳香があるものが少なくありません。トウオガタマの花はバナナによく似た強く甘い芳香を放ち、英語名 banana bush(バナナの藪)の由来となつて

います。同じ属でインドなどに分布するチャンパカ(*M. champaca*)は香水の原料としてよく利用されています。

モクレン科の植物の冬芽の表皮には、短い毛が生えています。防寒のためとも小型昆虫の食害を防ぐためとも言われているこの毛はトウオガタマにもあり、ビロードのような心地良い手触りです。耐久性がなく工芸材料にならないのが、何とも残念です。

§ 公園近況 §

バラ園・・・4月29日(月・祝)のオープンに向けて、着々と準備を進めております。一昨年・去年と比べてやや雪が少なかったことが、枝折れなどの被害が少なくなるプラスに出たか、寒風の影響を受けやすくなって凍害が出やすくなるマイナスに出たか、雪が融けてみないと判断がつかず、何とも気になるところです。

色彩館大温室・・・3月下旬に見頃となったモッコウバラ(黄・白)やハナミズキに続いて、つるバラのスーヴニール・ドウ・ラ・マルメゾンが咲き始め、ピエール・ドウ・ロンサー

ルやアトール'99などのつるバラが続きます。バラ以外の花では、クリスマスローズやヒメツバキ”エリナ・カスケード”を追う形で、ミヤマホタルカズラ、ハッサクが咲いており、蕾を多数つけたトウオガタマやショウジアが続きます。

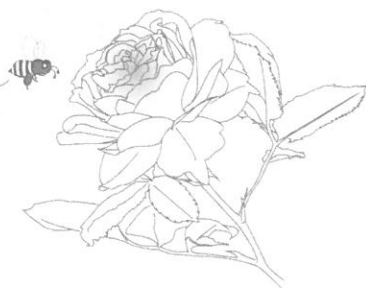
色彩館南国温室・・・ブルグマンシアが花盛りで、クジャクサボテンも緋色の花を次々に咲かせています。今年1回目の開花期が終わった、レモンと入れ替わりにユズが蕾を多数見せております。

花木園だより

春分が過ぎ、いよいよ春の匂いがするようになってきました。1月、2月はキーンと冷えていた日々も、今では大分和らいできています。ですがまだまだ油断は禁物。ぽかぽか陽気の日でも、午後2時半辺りを過ぎるとスーッと気温が下がり始めます。常に気温の変化に気を配ることが大事です。

只今、花木園では、花苗生産の最盛期。市内公園や町会等へ出荷する約5万株の花苗を生産しています。ペチュニアやベゴニアのポット上げ、サルビアとマリーゴールドの播種と、その準備などなど・・・。4月の中旬にはパンジーとビオラの出荷もあり、無加温のハウスでその時を待っています。春から夏に鮮やかに咲く花たちを想いながら、日々黙々と、着々と管理を行う花木園です。

ひとつき ひとバラ



文；石渡 杏奈
(いわみざわ公園バラ園)

イラスト；藤川 志朗
(イラストレーター)

第一回

ブルボン ローズ

スーヴニール・ドウ・ラ・マルメゾン

Souvenir de la Malmaison

作出国：フランス

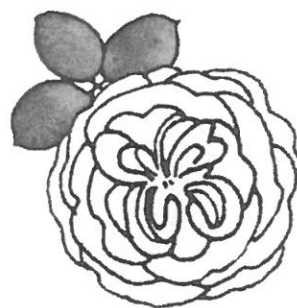
作出者：ベルーズ

作出年：1843 年

ハーディネスゾーン：Z5

交配：Madame Desprez (B) × Tea

花期：繰り返し咲き



Souvenir de la Malmaison

英名の Queen of Beauty and Fragrance の通り、美しさと香りの女王の名にふさわしいブルボン ローズの代表品種。花色はごく淡くやさしいピンク色で、中心が4つに分かれるクォーター・ロゼット咲きになり、肉薄の花弁が繊細で上品な雰囲気があり大変美しいです。甘い香りが強いのも魅力ですね。樹高は1m、横張り80cm ほどなので、コンテナ栽培にも向いています。

名前の由来は、ナポレオン1世妃ジョセフィーヌの丹精込めたバラ園があったマルメゾン宮にちなみ、「マルメゾン庭園の思い出」という意味があります。ジョセフィーヌといえば、バラの歴史に大きな影響を及ぼした人物としても有名です。彼女は、世界中にプラントハンターを派遣して収集した植物でマルメゾン庭園をつくり、バラだけでも250種類もあったとか。沢山集めた植物の中でも特にバラに情熱を注ぎ、お抱えの園芸家によって人工授粉による育種の技術を確立させます。これが後の繰り返し咲き性の品種改良に大きな影響を与えたという訳です。さらに品種の

記録を行うため、画家のピエール・ジョセフ・ルドゥーテ(Pierre-Joseph Redouté)にバラを描かせ「バラ図譜」が生まれました。今ではルドゥーテといえば、ボタニカルアートの天才画家として有名ですね。

「マルメゾン庭園の思い出」。百科絢爛の美しさの裏側に沢山のドラマを感じずにはいられません。このバラにもそんなドラマがあったのかもしれないですね。

色彩館の大温室には、この品種の枝変わりが出た、返り咲き性の つる スーヴニール・ドウ・ラ・マルメゾンがあります。毎年3月の下旬から4月の中旬頃にかけてが見頃です。肉薄の花弁は雨に当たると傷みやすいという弱点がありますが、色彩館のような温室では雨風にあたらないため花弁が傷みにくく、屋外よりも美しい状態で見られるので是非ご覧いただければと思います。そして、マルメゾン庭園に思いを馳せてみるのもオツかもしれませんよ。

3月の園芸相談から

Q；レモンを種から育てて10年以上になり、身の丈ほどに伸びていますが、花や実が全くつきません。一年を通して、午前中に日が差す2階の北向きの窓辺に鉢を置いています。1階の南向きの窓辺に置いているデコポンは実がなっています。どうしたらいいのでしょうか？

A；かんきつ類は日光を欲しがりますので、霜の心配がない限り戸外で日光によく当てて育ててください。まずはデコポンと同じ場所に置きましょう。

レモンは最低気温が摂氏2～3度以上なら問題なく越冬します。それ以上の暖かさより、日当たりを優先して置き場所を決めましょう。

かんきつ類は、昨年伸びた長い枝の葉脇から出る短い枝に実が付きやすいので、毎年短く切り詰める強剪定は禁物です。込んだ枝を軽く間引く程度にしましょう。

いわみざわ公園 なぜなにの箱

～Q&Aコーナー～

Q；色彩館の植物のラベルによく書いてある「Z7」とか「Z8」といった符号は、何を意味するのでしょうか？

A；アメリカ農務省(USDA)が定めた区分に基づく耐寒性の指標、つまり「最低気温が何度まで大丈夫か」を示すものです。数字が小さいほど寒冷地で栽培可能、つまり寒さに強いことを意味します。北海道では、空知地方がZ5(最低気温-23.4～-28.8℃)、札幌などがZ6(-17.8～-23.3℃)に相当します。

色彩館ではその設備を活かして、Z7やZ8以上の植物、つまり北海道の屋外では越冬が難しい暖地の植物を、積極的に植栽に取り入れています。

4月のイベント・講座の御案内

4月13日(日) 13:00～15:00 市民園芸講座・ハンギングづくりの基本

定員40人 参加費1,500円

講師；梅木 あゆみ 様 (月形コテージガーデン)

4月26日(土) 10:00～12:00 市民園芸講座・バラ剪定の基本

定員40人 無料

講師；工藤 敏博 様 (ローズグローワー)

4月27日(日) 13:00～15:00 市民園芸講座・家庭菜園を楽しもう

定員40人 無料

講師；大道 雅之 様 (拓殖大学北海道短期大学教授)

編集・発行 空知リゾートシティ株式会社(いわみざわ公園指定管理者)

お問い合わせ先 いわみざわ公園 室内公園「色彩館」緑の相談コーナー

0126-25-6111